

事業実績書

事業名		SANKA 海と森																		
実施場所		The Old Bus																		
期間		2025年 9月 16日 ~ 2025年 12月 31日																		
	日程	実施項目・作業項目																		
事業内容	■9月	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) ・実行委員会の立ち上げ (オンライン：実行委員会) ・出店者・協賛・出演者候補への声かけと調整・確定 (オンライン：実行委員会) ・企画内容の骨子確定、初回全体ミーティング実施 (オンライン：実行委員会) ・SNSによる告知開始 (オンライン：実行委員会) ・補助金申請・各種許認可準備 (実行委員会) ・タイムテーブルや配置図の確定 (オンライン：実行委員会) ・スタッフ募集・ボランティアの調整 (オンライン：実行委員会)																		
	■10月	・物販 (スウェット等) 製作開始 (オンライン：実行委員会) ・広報強化 (SNS・メディア連携) (オンライン：実行委員会) ・設営準備 (看板・電源・装飾など) (於The Old Bus：実行委員会) ・参加者申込み管理、当日のオペレーション設計 (於The Old Bus：実行委員会) ・必要備品の購入・レンタル手配 (オンライン：実行委員会)																		
	■11月	・イベント本番 (11月3日／予備日：11月24日) (於The Old Bus：実行委員会) ・当日運営 (受付、誘導、音響、設営撤収など) (於The Old Bus：実行委員会、ボランティアスタッフ、出店店舗スタッフ等) ・アンケート実施、記録撮影 (オンライン：実行委員会) ・事後ミーティング・報告書作成 (オンライン：実行委員会) ・イベント後広報 (オンライン：実行委員会)																		
	■12月	・イベント後広報 (オンライン：実行委員会) ・各種精算 (オンライン：実行委員会) ・アンケートの整理 (オンライン：実行委員会) ・KPTの確認、次回に向けてのミーティング (オンライン：実行委員会)																		
	事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 ・ 来場者数 目標：70~100人の来場者を動員 (地元住民60%、県外・市外来訪者40%程度) 完全予約制を採用しなかったため正確な人数把握は困難であったが、関係者 (出店者・出演者・ボランティア等) 56名、予約来場者61名であり、当日の来場者全体は120名を超えたと推計される。 アンケート回答者の属性では、沼津市内10人 (40.0%)、静岡県東部7人 (28.0%) が地元圏域からの参加で、神奈川県3人 (12.0%)、静岡県中部2人 (8.0%) に加え、石川県、群馬県、長野県 (松本) など遠方からの来場も確認され、市内外から幅広い集客が実現した。 ・ 地域事業者・出店者参加数 目標：飲食・ワークショップ・物販含め10店舗以上の地元事業者が出店・参加→実績は以下のとおりで、多数の地元・県内外事業者が参加した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">出店者数</th> </tr> <tr> <th>出店形態</th> <th>出店数</th> <th>沼津</th> <th>沼津以外県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲食</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					出店者数					出店形態	出店数	沼津	沼津以外県内	県外	飲食	13	8	3
出店者数																				
出店形態	出店数	沼津	沼津以外県内	県外																
飲食	13	8	3	1																

物販	5	3	2	0
ワークショップ	3	1	2	0
アーティスト	7	4	3	0
協賛・協力	16	8	7	1

地元を中心に、県内外から多様な出店・協賛が寄せられ、地域との連携が深まった。

・SNS・WEBでの情報拡散

目標：イベント告知のSNS投稿やシェア数が累計500件以上
 →Instagramでの告知投稿・シェア数は累計100件超で、目標値には届かなかった。一方、イベント前日（11/2）のプロフィールアクセス数685人、閲覧数30,157と非常に高く、当日の期待度・注目度の高さが確認された。
 イベント後も継続的に報告投稿を行い、11/15時点での閲覧数14,510と、開催後も高い関心が維持されている。

・来場者満足度アンケート

目標：参加者の80%以上が「満足」または「非常に満足」と回答
 アンケート回答者全員が満足と回答し、目標を大きく上回った。
 とても満足：17人（68.0%）
 満足：8人（32.0%）
 →満足度100%

・リピート意向率

目標：70%以上の来場者が「次回も参加したい」と回答
 →直接的なリピート意向の設問は設けなかったが、上記の通り、来場者の満足度はとても高く、また加えて、
 「このイベントを人に勧めたい」 → 100%
 「西浦エリアにまた来たい」 → 100%
 と、「次回参加意向」と同質の強い肯定的回答が得られた。
 さらに、「今後SANKAIにボランティア等に関わりたい」についても、
 “ぜひ関わりたい” 28%、“機会があれば” 60%（計88%）と高い関与意欲が示された。

質問項目	回答	回答数	割合
今日のイベントの満足度	とても満足	17	68.0%
	満足	8	32.0%
このイベントを人に勧めたい	強く思う	13	52.0%
	思う	12	48.0%
西浦エリアにまた来たいと思ったか	強く思う	19	76.0%
	思う	6	24.0%
今後「SANKAI」にボランティアなどで関わりたいか	機会があれば	15	60.0%
	ぜひ関わりたい	7	28.0%
	どちらともいえない	2	8.0%
	興味はない	1	4.0%

出店者・ボランティアからも「今後も関わりたい」との回答がほとんどであり、来場者・関係者ともにリピート意向率は非常に高いことが確認された。

自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>本事業は、来場者数・地域事業者の参画・来場者満足度といった主要な成果指標において、概ね目標を上回る結果を得ることができた。来場者数については、関係者・予約来場者を合わせ120名を超え、目標（70～100名）を上回る動員となり、市内外から多様な参加が得られた。</p> <p>多数の方が来場したこと以上に、参加者の満足度と次回への期待の高さが本事業の重要な成果と言える。アンケートでは全回答者が「満足」「とても満足」と回答し、「このイベントを人に勧めたい」「西浦エリアにまた来たい」という項目でも100%が肯定的であった。また、「今後ボランティア等で関わりたい」との回答は88%に上り、イベントを契機とした継続的な関係づくりが進んでいることが示された。</p> <p>これらの結果から、本イベントが掲げる“多様な人々と、自然と人、地域内外の来訪者がゆるやかにつながる非日常的な祝祭の場を共創する”という目的は十分に達成されたと考えられる。参加者同士の交流や地域の魅力への再発見が促され、単なる一日限りの催事に留まらない価値が創出された。</p> <p>一方で、SNSによる情報拡散は目標値に達しなかったため、広報戦略の改善が今後の課題となる。しかし、閲覧数の高さから潜在的な関心層は大きく、広報の工夫によりさらなる効果が期待できる。</p> <p>また、運営面では、限られた予算の中で実施したことから、出店者・出演者・ボランティア等に対し、より十分な謝礼を支払いたい場面が多く見受けられた。今回は参加費を無料としたが、持続可能な運営体制を構築するためには、次回以降、参加費の設定や協賛・寄付等の資金調達方法を検討し、より安定的に費用を確保できる仕組みづくりが必要である。</p> <p>総合的に見て、本事業は地域内外の交流促進、西浦エリアの認知向上、そして祝祭的・創造的な場づくりという観点から、きわめて高い成果を上げたと評価できる。次年度以降は、広報の強化や運営体制の拡充を図り、財源の確保も考慮しながら、より持続可能で地域に根ざしたイベントとして発展させていきたい。</p>
今後の活動予定	<p>※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>本事業で得られた成果と課題を踏まえ、今後も西浦エリアを舞台に、継続的かつ発展的な活動を行っていく予定である。次年度以降についても、引き続き補助金制度の活用を検討し、安定した運営基盤の確保を図る。</p> <p>具体的には、来年も同日に、同様のコンセプトによるイベントを継続開催することを計画している。単発の催事にとどまらず、毎年同時期に開催することで、地域に定着した行事としての認知向上を目指す。</p> <p>また、これまでの課題であった情報発信については、SNSやWEB等のオンライン媒体に加え、チラシ配布や地域イベントでの周知などオフラインでの露出も強化し、イベントおよび西浦エリアの認知度向上を図る。これにより、来場者層の拡大と関心層の裾野を広げていく。</p> <p>運営面では、持続可能性の向上を目的として、入場料の導入についても検討する。参加者の満足度を維持しつつ、出店者・出演者・運営スタッフへの適切な謝礼が支払える体制づくりを進めるとともに、協賛や寄付など多様な資金調達手法の併用を目指す。</p> <p>さらに、イベント当日だけでなく、準備段階から多くの人に関われる仕組みを整え、関係人口の増加を図る。ボランティア参加や企画段階からの参画機会を設けることで、地域内外の多様な人々が関わりしるを持ち、継続的に関係を築ける体制を構築していく。</p> <p>これらの取り組みを通じて、今後も「多様な人々と、自然と人、地域内外の来訪者がゆるやかにつながる祝祭の場」を継続的に創出し、地域の魅力向上とコミュニティ形成に寄与していきたい。</p>